

デコスドライ工法 見学会を13・19日に デコス

セルロース断熱材「デコスファイバー」の製造・販売などを手がけるデコス（山口県、安成信次社長）は、同商品を使用した断熱工法「デコスドライ工法」の特別見学会を13、19日の2日間、山口県下関市で実施する。時間は午後1時から5時まで。

セルロースファイバーは、古新聞紙を再利用したリサイクル建材で、施工性がよく、調湿・遮音性能が高い点が評価されている自然素材系断熱材。同社のセルロースファイバー「デコスファイバー」を使用したデコスドライ工法は、これまで実現が難しかった壁体内の無結露20年を業界で初めて保証したほか、新JIS規格も取得。また、全国200社の工務店などが事業展開している戸建て賃貸の「ユニキューブ」と「デザインナースメソネットエコパティオ」に標準採用されており、「ユニキューブ」「エコパティオ」は流行のシンプルモダンのデザインが人気を博し、全国で700棟の販売実績がある。

参加は無料。定員10社に達し次第締め切り。申し込み、問い合わせは、ハイアス&カンパニー（電話03・5423・7333）担当福島・本木（ほんき）氏まで。